



山口まちづくり推進協議会だより

第45号

回覧

さわやか

令和2年12月28日発行

発行：山口まちづくり推進協議会

事務局：山口まちづくりセンター

Tel: 04-2924-1224

第62回山口地区文化祭 今年コロナ禍の影響で分散開催 第一弾は「菊花展」

コロナ禍の影響により分散開催となった第62回山口地区文化祭。第一弾の菊花展が10月31日（土）、11月1日（日）の両日、山口まちづくりセンター学習室2号・3号で開催されました。コロナ感染防止のため、会場入口では体温測定と記帳を行い、また、入室者カードを配り、密になるのを防ぎました。

今年は異常な夏の暑さで花芽の時期が遅くなり、例年より出品の数が少なかったようですが、山口菊愛好会の皆さんたちが丹精を込めて育て上げたみごとな菊が会場いっぱい展示されました。

両日合わせて128名の入場者があり、藤本市長も熱心に鑑賞されていました。文化祭の終了後、菊は中氷川神社の境内に移され、そこでまた多くの人たちの目を楽しませてくれました。



丹精込めて育て上げた菊を觀賞。

祝 表彰 社会福祉事業功労者 第44回所沢市社会福祉大会で表彰

例年、所沢市社会福祉大会（主催：所沢市・所沢市社会福祉協議会）において、多年にわたり地域・高齢者・障がい者・児童を対象とした社会福祉事業の発展に功績のあった方や団体などが表彰されます。今年度はコロナ感染防止のために10月6日（火）に予定されていた式典は中止となりましたが、山口地区では次の方々が表彰されました。敬称略、（ ）内は山口地区での活動母体などです。

民生委員・児童委員

山田達江、松山弘子、松瀬成潤、宮内雅子、吉永協子、向野静子、下井義海、粕谷秀雄、関克己、糟谷千代子

主任児童委員

柿木薫

一般福祉功労者等

毛利いせ子（所沢地区更生保護女性会）〔右上に続く〕

江崎玉枝（所沢地区更生保護女性会）

粕谷政子（所沢地区更生保護女性会）

景井八重子（山口地区母子愛育班員及び母子保健推進員）

社会福祉協力者（寄付者に対する感謝）

密厳院（所沢市への寄付）

外崎修汰（西武ライオンズ選手、こども未来基金への寄付）

株式会社ベルク山口店お客様一同（愛の福祉基金への寄付）

受賞者の調査には正確を期しておりますが、誤記や掲載漏れがありましたら広報委員会事務局まで御連絡下さい。

地域福祉研修会

～防災から考える～ 誰もが安心して暮らすためには

11月28日（土）山口まちづくりセンターホールにおいて、地域福祉部会主催、所沢市社会福祉協議会共催による地域福祉研修会が開催されました。災害に備え安心なまちづくりを一緒に考えることをテーマに講演会を行い、48名が参加しました。講師の齊藤操氏は元所沢市消防本部消防長で、自主防災会の設置を各地域に働きかけました。荒幡町内会長の時には、自主防災組織を結成、現在は所沢市自主防災会連合会会長です。

「隣組」による安否確認体制の仕組み、災害発生時の家での具体的備えなどの内容は、私たちのこれからの暮らしのヒントになりました。

また、災害に備え安心なまちづくりを進める上でも日頃の地域のつながりの大切さを感じました。



参加者はソーシャルディスタンスを保ちながら熱心に講演を聴きました。



荒幡地区の自主防災組織の活動内容はとても参考になりました。

秋の「環境美化の日」 所沢市は今年度も「海ごみゼロウィーク」*の取り組みに賛同・参加

11月1日(日)、秋の「環境美化の日」の清掃活動が市内全域で実施されました。(主催：所沢市自治連合会、所沢市環境推進員連絡協議会、所沢市) 春の「環境美化の日」はコロナ禍の影響で中止となりましたが、秋季はコロナ感染対策を最優先させることを前提に各自治会・町内会の判断により実施することとなりました。

山口地区では例年よりも減りましたがそれでも1,610人が参加しました。山口地区の活動の様子は「海ごみゼロウィーク」のホームページ(埼玉県の11月の活動報告)や所沢市のFacebook「恋してマチエコ」で紹介されているのでご覧下さい。

※)増え続ける海洋ごみの削減と啓発を目的として環境省と日本財団が展開する全国的な取り組み。



いつも皆が通る道、ご近所同士が協力してきれいに清掃しました。



プラごみは「海ごみゼロウィーク」の専用袋にまとめて回収しました。

運動日和の半日を楽しんだ「ペタンク」&「体力測定」

9月27日(日)山口小校庭において「ペタンク」&「体力測定」(主催：所沢市スポーツ協会山口支部)が行われました。

例年、この時期に地域の親睦を図る事業の「山口地区ふれあいスポーツ大会」が行われていましたが、今年度はコロナ禍のため中止となりました。この時期はあらゆる大会やイベントが自粛され、運動不足の解消や体力把握のためにとスポーツ協会山口支部が企画したものです。

朝は小雨がパラつき、はっきりしない天気で開催が危ぶまれましたが、開始時刻には熱心な十数名の方が集まり、無事開始することができました。一生懸命跳んで、投げて、曲げ、時折ペタンク会場からは歓声が上がリ、盛り上がりました。参加者の熱意が伝わったのか、天気も回復し運動日和の半日を24名の方が楽しみました。



精神を集中して的に一投。

24名の方が楽しみました。

山口地区秋季グラウンドゴルフ大会開催

11月15日(日)、狭山湖グラウンドにて山口地区グラウンドゴルフ大会が開催されました。(主催：所沢市スポーツ協会山口支部、共催：山口まちづくり推進協議会学習文化部会)

コロナ感染者が多数増え続けている中、協会の皆さんの創意工夫で、競技者の皆さんもお互いに距離をとり、参加者80名、トマリも約24個、ロングトマリも1個ありました。風もなく、すばらしい晴天の中、楽しい1日を過ごせたことを役員の皆様に感謝申し上げます。



雲一つない青空の下、爽快な気分でプレイを楽しみました。

子どもたちの安全を願い 椿峰小 PTA 本部による除草作業

コロナ禍で中止になる行事が多いですが、椿峰小では保護者による除草作業と親子除草作業(主催：椿峰小PTA)が2日間にわたり行われ、暑い中校内及び周辺の通学路の除草を行いました。親子除草の参加者は椿峰小をスポーツで使わせていただいている子どもたちと保護者、PTAの親子などです。以前は夏休み



こんなにたくさんの雑草を刈り取りました。



汗を流しながらの除草作業でした。

中の土曜日に実施していましたが、暑い中での伸び放題の雑草抜きは大変なので、昨年からは秋頃の開催となりました。伸びた雑草は通行の妨げにもなり、ついつい避けるために車道に出てしまいがちですね。子どもたちの危険を回避するため、また一般の方の通行の妨げにもなるため、このような活動はありがたいですね。

山口地区自治連合会から 小中学校へ寄付

コロナ禍の影響により、山口地区の小中学校の先生方も日々大変なご苦労をされていることとお察し致します。

このような中、山口地区自治連合会では、少しでも地域の教育活動を支援したいとの思いから、各校へ寄付をさせていただくことにしました。各校5万円を上限とし、それぞれ必要とされる物品や消耗品の購入に充てていただきました。

小中学校の体育祭・運動会無事開催 コロナ禍の中楽しい思い出ができました

各学校にて安全に配慮した上、各日晴天の中での体育祭・運動会が開催されました。開催日は下記のように分散しており、各校のご苦労が伺われます。例年とは違い縮小せざるをえない中、多くの生徒たちが楽しみにしている行事が、また一つ無事に執り行われ、大変喜ばしいことと思います。保護者も観覧エリアで密にならずに観覧できたとの声もありました。

山口中：10月27日（火）、11月10日（火）、11月11日（水）
上山口中：9月13日（日）、山口小：10月20日（火）
泉小：10月18日（日）、椿峰小：10月20日（火）

上山口地区柳瀬川上流の「八生橋」の読み方と由来

昭和6年に勝楽寺村からこの地に移転された時のお話になるそうです。狭山湖建設により、当時8軒の方が移転居され、その八をとり新天地で生きることから話し合い、「八生」と書き、読みは（やよい）と中村萬吉さんがとりまとめ称呼命名されたそうです。現在その地にお住まいの竹之内様よりお話を伺い、由来が解りました。以前は、板を渡しただけの橋が現在の八生橋より上流にあったそうです。現在の八生橋は昭和30年に作られました。

この話は堀口の高杉修さんのご協力で判明しました。湖底のふるさと狭山湖にちなんだ話など、伝えておきたいことなど、伝承に関して再認識した次第です。

高橋から上流の橋：高橋→川辺橋→八生橋（やよい橋）→大鐘橋（最上流起点）→（縄竹橋）

（寄稿 神藤年三氏） こんなところにも狭山湖建設と関わりが。 昭和30年3月吉日と刻まれています。



シリーズ④④ 行って見よう 山口の自然と歴史 もっと知ろう！ 海蔵寺 その5 鎌倉海蔵寺の見所「花と湧水」「十六の井」歴史伝説など深き寺

花暦（はなごよみ）にもある鎌倉海蔵寺の見所は、四季折々の花々と秋の紅葉。東国花の寺として名高いばかりでなく、十六の井（十六の井戸）は薬師堂裏手の岩窟内にある16の丸穴から水が湧き出している。嘉元四年（1306）の銘がある阿弥陀三尊像が壁面に安置されていたが、現在は鎌倉国宝館に寄託されている。

山門、本堂、薬師堂など本尊薬師如来坐像の胎内には、源翁心昭（げんのうしんしょう）和尚（空外）が赤児の泣き声を頼りに土中から掘り出したと伝える仏面を納めており、その伝説から啼薬師（なきやくし）、児護薬師（こもりやくし）と云われている。底脱の井（そこぬけのい）など鎌倉十井（じっせい）の一とされている。安達泰盛の娘千代能や上杉家の尼に詠まれたことが伝説に残っています。（鎌倉海蔵寺の詳細はまちづくりセンターのロビーに掲示しています）



底脱の井



鎌倉海蔵寺 本堂付近



本薬師如来坐像



十六の井

所沢山口城の歴史から鎌倉との関り、海蔵寺などご紹介してきました。次号は「歴史の道はつづく」と題し、護良親王終焉の地、鎌倉宮をお伝えします。

（寄稿 神藤年三氏）

山口地区の催し物情報・参加者募集

新型コロナウイルス感染防止のため催し物が中止されることがあります。詳しくは各問合せ先にてご確認下さい。

催し物の名称・主催	日時・場所・内容	募集内容・申込み
子育て広場 共催：母子愛育班・更生保護女性会・民生委員児童委員協議会・山口まちづくりセンター	日時 しばらくの間お休み 場所 山口まちづくりセンター（和室） 内容 乳児の子育て支援と交流	対 象 乳児とその保護者 申込み 当日、直接お越し下さい。 参加費 無料
こどもと大人の囲碁入門教室 共催：山口囲碁クラブ・山口まちづくりセンター	日時 しばらくの間お休み 場所 山口まちづくりセンター（和室）	対 象 子ども、保護者、成人 申込み 当日、直接お越し下さい。 参加費 無料
山口子ども文庫おはなし会 共催：山口子ども文庫おはなし会・山口まちづくりセンター	日時 本の貸し出し：1月9日、16日、23日、30日、2月6日、13日、20日、27日、3月6日、27日（毎月第1週～第4週の土曜日）午前10時～12時 おはなし会：1月はお休み、2月6日、3月6日 場所 山口まちづくりセンター（学習室3号）	
元気いきいき健康講座 主催：保健センター健康づくり支援課	今年度は中止となります。	問合せ 保健センター健康づくり支援課（Tel.2991-1813）
山口とこしゃんくらぶ 共催：山口地域包括支援センター・山口まちづくりセンター	日時 1月8日、22日、2月12日、26日、3月12日、26日（第2・4金曜日） 午後1時50分～、受付：午後1時30分～ 場所 山口まちづくりセンター（ホール） 内容 高齢者が元気になるための椅子に座ってもできる体操です。	申込み 申込制です。詳細はお問合わせ下さい。 問合せ 山口地域包括支援センター（Tel.2928-7525） 参加費 無料 持ち物 飲み物、汗拭きタオルなど
地域交流会めくもい広場 主催：山口まちづくりセンター	日時 しばらくの間お休み 場所 山口まちづくりセンター（学習室2号） 内容 交流と仲間づくり	対 象 高齢者と障害のある方 申込み 当日、直接お越し下さい。 参加費 100円（当日いただきます）
大人の手作り講座 主催：山口まちづくりセンター	日時 2月24日（水）午前10時～12時 場所 山口まちづくりセンター（学習室2号） 内容 初心者向け桃の節句仕様のハーバリウム（2本）を作ります。 マスク着用と来館前の検温をお願いします。	申込み 2月2日（火）午前9時から山口まちづくりセンター（Tel.2924-1224） 定 員 10名（先着順） 参加費 2,500円 持ち物 ハサミ、ピンセット（お持ちの方）、持ち帰り袋
第62回山口地区文化祭芸能発表会 主催：山口まちづくりセンター、学習文化部	日時 2月27日（土）～28日（日） 場所 山口まちづくりセンター（ホール） 内容 公民館サークル・地域の人たちによる舞台発表 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となる場合があります。	
令和2年度所沢市消防出初式 主催：所沢市、所沢市消防団	今年度は中止となります。	
第74回所沢市山口地区成人のつどい 主催：所沢市、所沢市教育委員会、第74回山口地区成人のつどい実行委員会	日時 1月11日（月祝） 場所 上山口中学校体育館 内容 式典のみ実施予定	対 象 平成12年4月2日～平成13年4月1日に生まれた方
図書館おはなし会 主催：所沢図書館椿峰分館	日時 1月9日、23日、2月13日、27日、3月13日、27日（それぞれ土曜日） 午前10時30分開始 内容 すばなし、てあそび、絵本読み聞かせ、工作など 場所 所沢図書館椿峰分館	対 象 4歳以上（保護者の方も一緒に） 問合せ 椿峰分館（Tel.2924-8041）
図書館親子おはなし会 主催：所沢図書館椿峰分館	日時 1月20日（水）、2月7日（日）、3月17日（水）午前11時開始 内容 てあそび、わらべうた、絵本読み聞かせ 場所 所沢図書館椿峰分館	対 象 0歳から3歳まで（保護者の方も一緒に） 問合せ 椿峰分館（Tel.2924-8041）

編 集 後 記

前号で紹介した岩崎3号自治会の防災訓練について、いくつかの自治会から問い合わせがあったと聞きました。他にも先進的な取り組みをしている自治会・町内会があると思いますが、これらの好事例を参考にしながら、各自治会・町内会に拡がっていったら山口の防災体制は素晴らしいものになるでしょう。「さわやか」がこのような形で安全・安心なまちづくりのお役に立つことができれば本望です。

広報委員：新居亨一（地域環境部会）、渡辺栄一（地域振興部会）、前田克夫（地域福祉部会）、杉浦佳子（青少年育成部会）、遠藤健志（学習文化部会）、本橋由和（地域安全部会）



